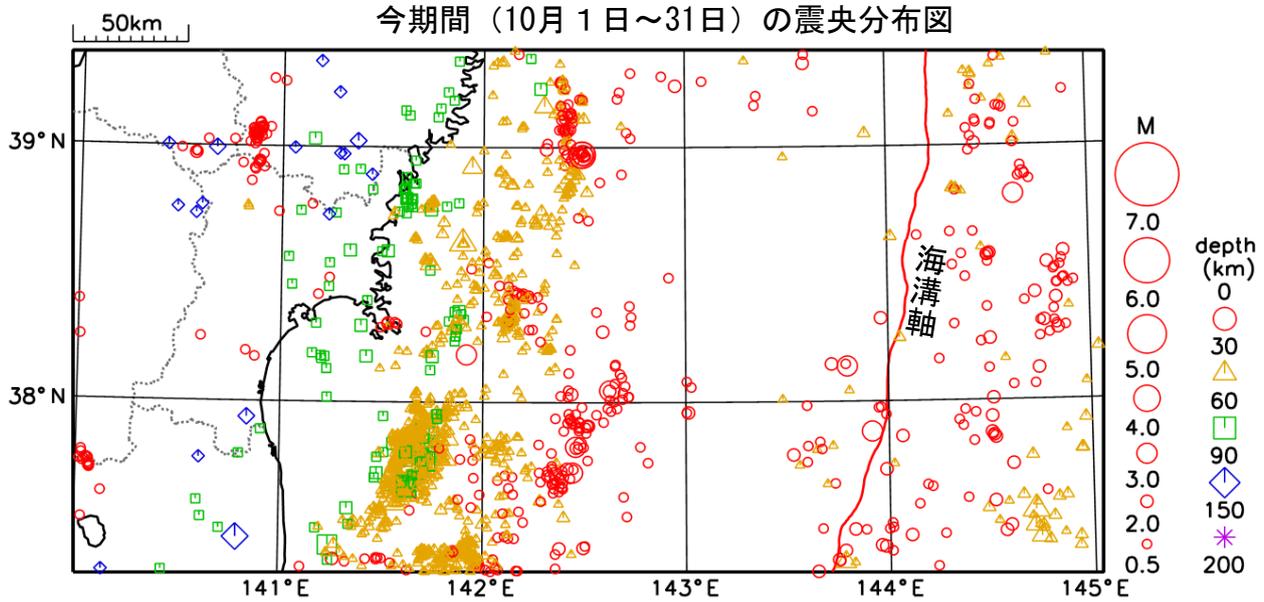


宮城県月間地震概況

2023年10月

仙台管区気象台

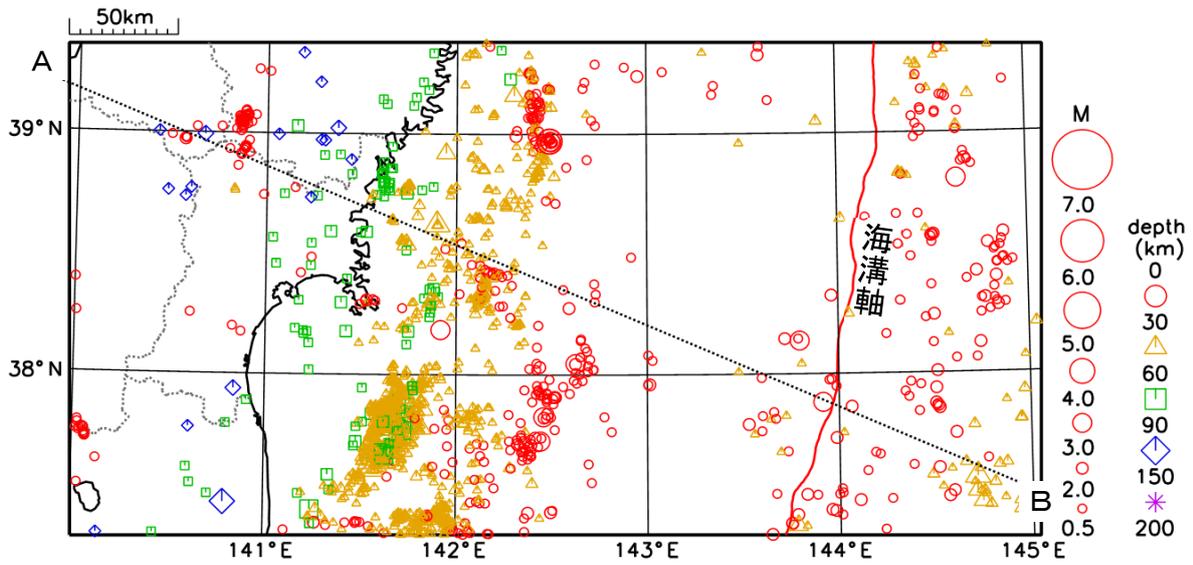


[概況]

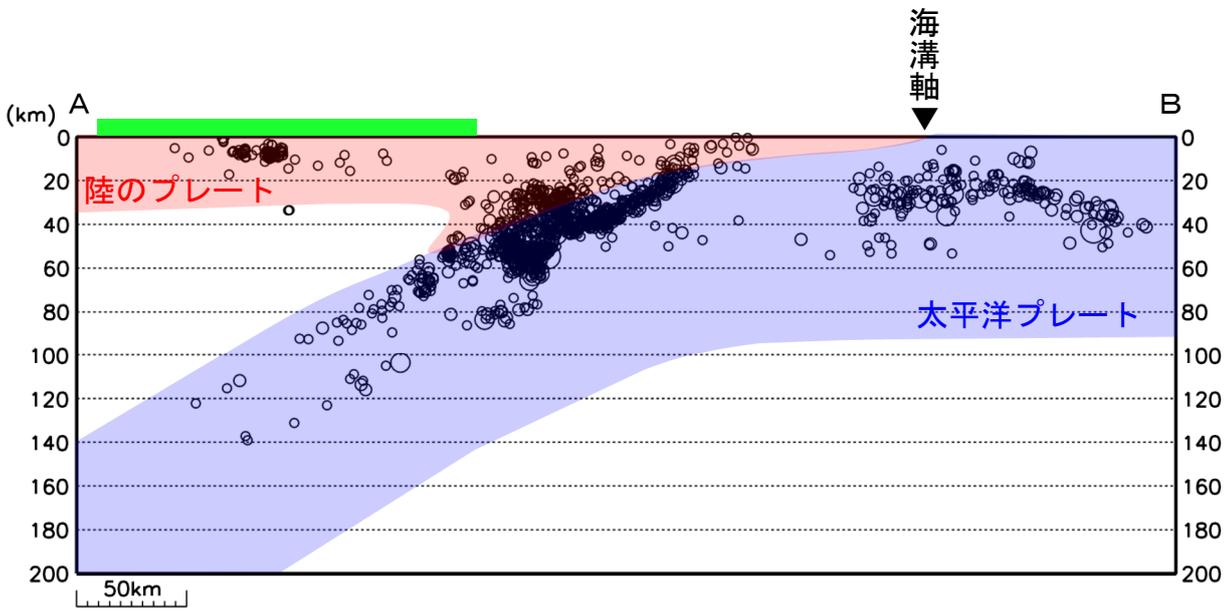
今期間、宮城県内で震度1以上を観測した地震は12回（9月：13回）であった。このうち、宮城県内で震度3以上を観測した地震はなかった（9月：4回）。

今期間、特に目立った地震活動はなかった。

【震央分布図】



【断面図】 断面図は震央分布図内の震源を直線A－Bに投影したものである



- ※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ は陸地の大まかな位置を示している。
- ※海溝軸付近から沖合の地震の震源は深さの精度が十分でないものも含まれており、実際は浅いところ（深さ10km～30km）のものが多いと考えられる。

宮城県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年10月1日～2023年10月31日

発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年10月01日13時25分	宮城県沖	38° 37.4' N	141° 53.8' E	47km	M4.0
宮城県	震度 2 : 気仙沼市唐桑町*				
	震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣* 登米市東和町* 登米市豊里町* 南三陸町歌津* 石巻市北上町* 石巻市桃生町*				
2023年10月02日22時26分	栃木県南部	36° 42.6' N	139° 52.0' E	125km	M4.2
宮城県	震度 1 : 岩沼市桜*				
2023年10月06日16時44分	福島県沖	37° 10.7' N	141° 10.9' E	62km	M4.1
宮城県	震度 2 : 山元町浅生原*				
	震度 1 : 白石市亙理町* 仙台空港 名取市増田* 角田市角田* 岩沼市桜* 蔵王町円田* 大河原町新南* 柴田町船岡 宮城川崎町前川* 丸森町上滝 亙理町悠里* 仙台若林区遠見塚* 仙台泉区将監*				
2023年10月07日23時26分	岩手県沖	40° 08.0' N	142° 23.4' E	40km	M4.9
宮城県	震度 2 : 気仙沼市唐桑町* 涌谷町新町裏 栗原市若柳* 登米市迫町* 石巻市桃生町*				
	震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣* 栗原市栗駒 栗原市築館* 栗原市志波姫* 栗原市高清水* 栗原市金成* 栗原市一迫* 登米市中田町 登米市東和町* 登米市豊里町* 登米市登米町* 登米市米山町* 登米市南方町* 宮城美里町木間塚* 大崎市古川三日町 大崎市古川大崎 大崎市松山* 大崎市鹿島台* 大崎市田尻* 名取市増田* 岩沼市桜* 丸森町鳥屋* 石巻市泉町 石巻市大街道南* 石巻市相野谷* 石巻市前谷地* 東松島市矢本* 松島町高城				
2023年10月12日18時55分	宮城県沖	37° 51.7' N	141° 48.8' E	55km	M4.1
宮城県	震度 1 : 名取市増田* 岩沼市桜* 石巻市大街道南* 石巻市桃生町* 松島町高城				
2023年10月13日18時59分	青森県西方沖	41° 03.7' N	140° 14.6' E	171km	M5.0
宮城県	震度 1 : 石巻市桃生町*				
2023年10月22日21時48分	岩手県沖	40° 25.5' N	142° 08.1' E	36km	M4.3
宮城県	震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣*				
2023年10月24日21時29分	神奈川県西部	35° 22.6' N	139° 02.4' E	167km	M4.2
宮城県	震度 1 : 岩沼市桜*				
2023年10月26日02時41分	宮城県沖	38° 32.4' N	141° 44.2' E	53km	M3.7
宮城県	震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣* 涌谷町新町裏 南三陸町歌津*				
2023年10月29日11時13分	宮城県沖	38° 58.2' N	142° 29.3' E	29km	M4.5
宮城県	震度 2 : 気仙沼市笹が陣* 栗原市栗駒 栗原市若柳* 石巻市桃生町*				
	震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市唐桑町* 気仙沼市本吉町津谷* 宮城加美町中新田* 色麻町四竈* 涌谷町新町裏 栗原市築館* 栗原市鶯沢* 栗原市瀬峰* 栗原市高清水* 栗原市金成* 栗原市一迫* 登米市中田町 登米市東和町* 登米市豊里町* 登米市登米町* 登米市米山町* 登米市南方町* 登米市迫町* 南三陸町歌津* 宮城美里町木間塚* 大崎市古川三日町 大崎市古川大崎 大崎市鳴子* 大崎市古川旭* 大崎市松山* 大崎市鹿島台* 大崎市田尻* 名取市増田* 岩沼市桜* 蔵王町円田* 仙台宮城野区苦竹* 石巻市泉町 石巻市大街道南* 石巻市北上町* 石巻市相野谷* 石巻市前谷地* 東松島市小野* 東松島市矢本*				
2023年10月29日11時25分	宮城県沖	38° 58.2' N	142° 29.3' E	28km	M4.4
宮城県	震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣* 気仙沼市唐桑町* 気仙沼市本吉町津谷* 色麻町四竈* 涌谷町新町裏 栗原市栗駒 栗原市築館* 栗原市高清水*				

発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	各地の震度				
	栗原市金成* 栗原市若柳* 栗原市一迫* 登米市中田町 登米市東和町* 登米市登米町* 登米市米山町* 登米市南方町* 登米市迫町* 南三陸町歌津* 宮城美里町木間塚* 大崎市古川三日町 大崎市古川大崎 大崎市松山* 大崎市田尻* 石巻市大街道南* 石巻市前谷地* 石巻市桃生町* 東松島市矢本*				
2023年10月29日22時12分	福島県浜通り	37° 12.3' N	140° 55.5' E	83km	M3.7
宮城県	震度1 : 岩沼市桜*				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査の後、変更することがある。

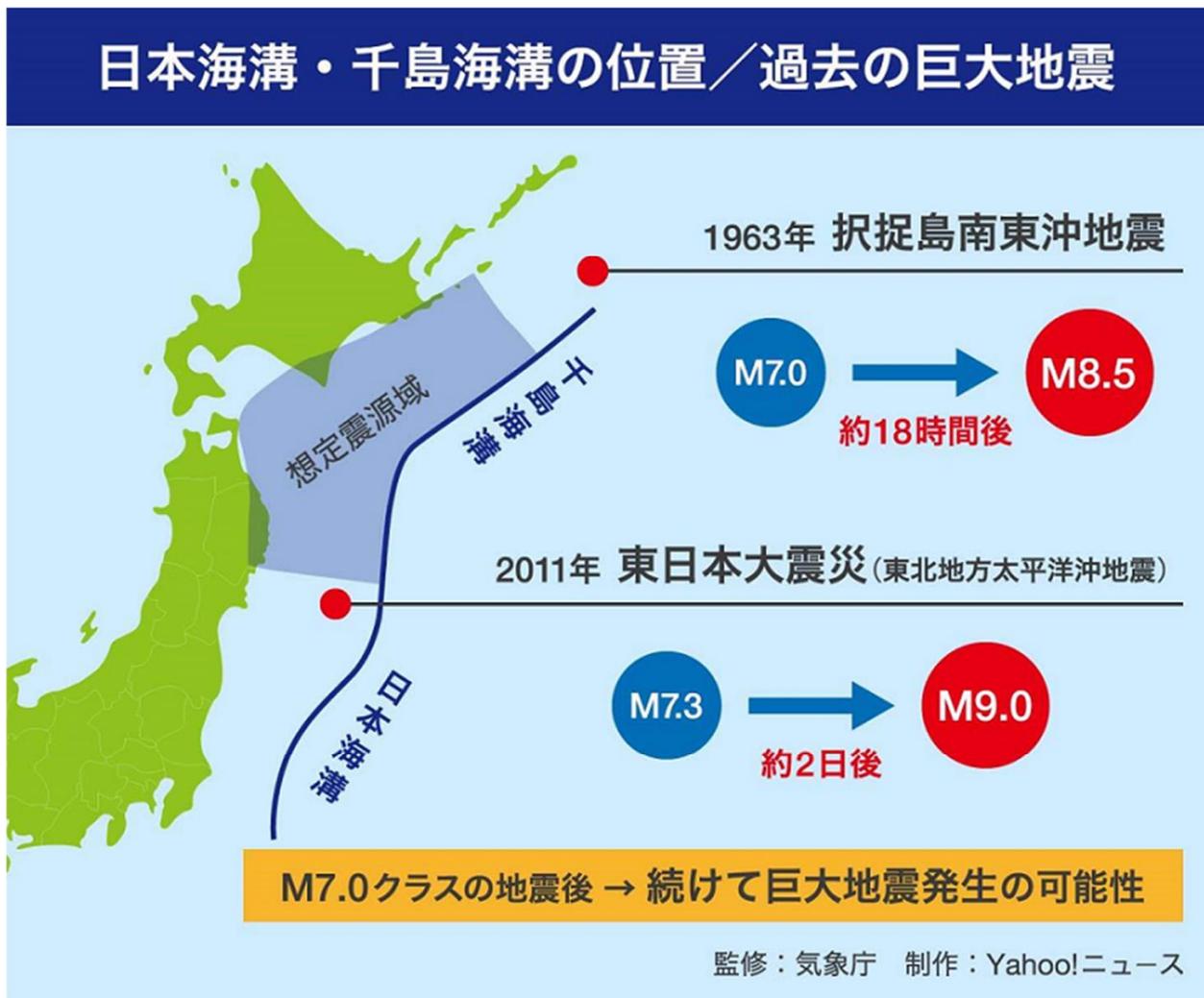
各地の震度は宮城県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

北海道・三陸沖後発地震注意情報

先月の防災メモで、安政南海地震（1854年）の発生日（旧暦）である11月5日が「津波防災の日」と定められていることを紹介しました。この安政南海地震が発生した南海トラフ領域では、マグニチュード（M）8を超える地震が、概ね100～150年間隔で繰り返し発生しており、前回の南海トラフ地震（「昭和東南海地震」（1944年）・「昭和南海地震」（1946年））から80年近く経過した現在、次の南海トラフ地震発生切迫性が高まっているといわれています。

これに対して、東北地方から北海道地方の太平洋沖（日本海溝・千島海溝沿い）の領域では、最新の調査研究により、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」という）のようなM9クラスの地震が数百年間隔で繰り返し発生してきた可能性が示唆されています。また、この領域では、東北地方太平洋沖地震のように、M7クラスの地震が発生した後に、さらに大きな地震が発生した事例が確認されています（下図）。さらに、東北地方太平洋沖地震の震源域とならなかった、北海道・三陸沖（下図の想定震源域）では、M9クラスの地震発生切迫性が高まっているといわれていることから、**この領域でM7以上の地震が発生した場合に、北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表して、続いて発生する大きな地震の発生への備えを呼びかける**こととしました。



北海道・三陸沖の巨大地震で想定される被害は？

中央防災会議では、この領域で想定される最大クラスの巨大地震の地震・津波について検討し、発生する季節や時間帯、事前対策の有無など様々な条件下での被害想定を行いました。その結果、**最悪の条件（真冬の深夜に発生）では、死者数が約199,000人に上る結果となった一方で、事前の備えと迅速な避難により死者が8割減る**結果が得られました。

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震 被害想定



- 最大津波高 約30m
- 最大死者約19万9000人
- 低体温症で死亡のリスク

防災対策で死者は8割減らせる (取り組み事例)



津波から迅速な避難



津波避難ビル等を活用



寒さへの備えも万全に

監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース

情報が発表されたときは何をすればよい？

この情報が発表された場合は、**1週間程度、平時よりも巨大地震の発生に注意し、地震への備えを徹底しましょう**。具体的には、家具の固定や安全な避難場所・避難経路の確認などの、日ごろからの**地震への備えの再確認**に加え、揺れを感じたり、津波警報が発表されたりした際に、**直ちに津波から避難できるように準備**（例えば、夜はすぐ逃げだせる態勢で眠る、スマホやラジオなど緊急情報を取得できるものを手元に置いておくなど）を行ってください（次ページの図参照）。

発表後にとるべき防災対応

発災時にすぐ避難できる準備

すぐに逃げ出せる 態勢での就寝

枕元に
靴などを
置いて
寝る



非常持出品の 常時携帯



緊急情報の 取得手段の確保

インター
ネット



ラジオ

身の安全の確保

崩れやすい
ブロック塀など
に近づかない



日頃からの備えの再確認



- 家具の固定
- 非常用持ち出し袋の準備
- 水や食料の備蓄
- 避難場所・経路の確認
- 感震ブレーカーの設置
- 建物の耐震化

監修:気象庁 制作:Yahoo!ニュース

日頃からの備えが重要です

実際に後発地震が発生する確率は、世界の事例を踏まえると100回に1回程度で、極めて不確実性が高く、それに応じた防災対応は大変難しいという背景があります。しかし、ひとたび巨大地震が発生すると、その被害は甚大なものとなります。情報発表時に後発地震が起こらなかった場合でも、「空振り」と捉えるのではなく、防災訓練や防災意識の向上につなげる「素振り」と捉えましょう。

また、先発地震を伴わずに巨大地震が発生する場合も多いです。そのため、突発的に地震が発生した場合を想定し、日頃から地震への備え（事前防災対策）を徹底しましょう。その上で、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表時には地震への備えを再確認するようにしましょう。